

# 魅力ある通りや鉄道の景観

鉄道や幹線道路は、景観づくりを進める上で、北区全体のまちなみを結ぶ骨組みとしての重要な役割を担っています。交通手段としての機能ばかりでなく、その沿線・沿道には、快適な景観が求められています。その中でも、懐かしさの感じられる場所、都会的なイメージのする場所など、それぞれの特徴ある風景の数々が、多くの人々に親しまれています。

## 新幹線の遠景

⑧ G-5



⑧ 北区浮間4丁目～東田端1丁目辺り

北西から南東にかけて、北区のほぼ中央を新幹線の高架が通っています。昭和60年から列車の運転が開始されました。沿線の高台やビルからは、未来感あふれるデザインの車両が、通り過ぎるようすが望めます。

⑧ 「北とびあの展望台や田端6丁目の富士見橋などからよく見えます。いろいろな種類の車両があり、陽射しに輝いてさっそうと走るようすが、とてもかっこいいと思います」(中学1年生: 上中里1丁目在住・男子)

## 赤羽駅西口駅前風景

⑨ F-3



⑨ 北区赤羽西1-5～7辺り

平成7年、再開発により整備されたこの一帯は、「バルロード」の愛称で親しまれています。スケールの大きい建物やカラフルに舗装された歩道など、区の北側の玄関口にふさわしい、きれいな景観となっています。

⑨ 「以前にくらべて、歩道にもゆとりができて気持ちよく買い物ができるようになりました。夕方・夜間はイルミネーションがとてもきれいです」(主婦: 赤羽西2丁目在住・73歳)

## 荒川にかかる鉄道の橋

📍 E-1



📍 北区赤羽3丁目先

北区と川口市の間には、荒川に架けられた3本の鉄道の橋があります。昭和3年に完成し(但し、京浜東北線の橋は昭和40年架橋)、昔の面影を残すこの橋の上を、今日もたくさんの電車が通っています。

**区民の声** 「どこもみんな変わってしまった中で、ここだけは、かつてのなつかしい風景が広がっています。堂々として大きな橋を眺めていると、心が安らぎます」  
(赤羽台4丁目在住・80代男性)

## 田端切り通し

📍 M-9



📍 北区田端1丁目、田端5丁目先

田端駅北口から文京区方面に通じる道には、昭和8年に開通した高台を貫く切り通しがあります。高いところでは、20m近くも石垣が整然と積み上げられていて、その下から見上げると、圧倒されるような迫力が感じられます。

**区民の声** 「東台橋や童橋など、切り通しに架かっている橋の上から見下ろすのも、そのスケールがよくわかります」  
(会社員:田端1丁目在住・50代男性)

## 飛鳥大坂

📍 I-7



📍 北区王子1-1,2先

明治通り、北本通り、本郷通りがぶつかる交通の要衝で、王子駅の線路下から飛鳥山公園脇を登っている坂道です。都電と車が一緒に併走する何とも懐かしい風景がそこにはあります。

**区民の声** 「東京で唯一残る都電が、カーブしながら自動車と一緒に走っているようすは、北区ならではの貴重な景観だと思います。また、春には飛鳥山公園や音無親水公園の桜がとてもきれいに見えます」  
(会社員:堀船3丁目在住・47歳男性)

## 田端ふれあい橋

📍 M-9



📍 北区田端1-21先～東田端1-16先

軍艦製造技術をいかした全溶接橋として、「軍艦橋」の名で愛されてきた道路橋が、平成4年に、歩行者専用橋としてリニューアルされました。沿道に緑や花が多く植えられている広々とした歩道が、快適な景観をつくりあげています。

**区民の声** 「照明や彫刻がとても美しいと思います。花壇の縁はペンダ状になっているので座れるし、時を告げる“希望の鐘”の澄んだ音色も大好きです」  
(田端1丁目在住・80代男性)

## 尾久客車区

📍 L-8



📍 北区上中里2-45-1

上野駅を始発・終着とする長距離列車の編成や整備を行う施設です。約29万6千㎡のとても広い敷地に、客車が何列も整然と並んでいる姿は壮観です。

**区民の声** 「いろいろな種類の電車が止まっていて、鉄道ファンでなくても楽しめます。梶原踏切に架かる跨線橋“上中里さわやか橋”や尾久駅のホームから、よく見えます」  
(昭和町2丁目在住・40代男性)

※平成10年2月の選定時には「尾久操車場」の名称を使っていましたが、正式な施設名称に変更いたします。